

本事業について

タイトル	内容
本事業について	講義担当者: 横浜商科大学商学部教授 佐々徹 再生時間: 13分01秒 撮影年度: 平成27年

観光ビジネス基礎編(10講座)

タイトル	内容
[Introduction] インバウンドとMICEを学ぶ意義	講義担当者: 横浜商科大学商学部観光マネジメント学科教授 穴戸学 再生時間: 10分56秒 撮影年度: 平成27年
観光産業の特性	講義担当者: 横浜商科大学商学部教授 羽田耕治 再生時間: 16分18秒 撮影年度: 平成27年
グローバルMICE都市とユニークベニュー	講義担当者: 日本政府観光局(JNTO)コンベンション誘致部次長 川崎悦子 再生時間: 15分33秒 撮影年度: 平成27年
アクション・プログラム2015	講義担当者: 横浜商科大学商学部特任講師 秋山友志 再生時間: 16分34秒 撮影年度: 平成27年
着地型観光マーケティング論 I 地域と観光客の絆をつくろう	講義担当者: 神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 教授 小野田金司 再生時間: 13分13秒 撮影年度: 平成25年
着地型観光マーケティング論 I マーケティング手法を理解しよう	講義担当者: 神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 教授 小野田金司 再生時間: 16分53秒 撮影年度: 平成25年
着地型観光マーケティング論 II 観光産業適用ケース(1)	講義担当者: 夙川学院短期大学 田邊文彦 再生時間: 14分50秒 撮影年度: 平成25年
着地型観光マーケティング論 II 観光産業適用ケース(2)	講義担当者: 夙川学院短期大学 田邊文彦 再生時間: 13分20秒 撮影年度: 平成25年
旅行者行動論 I	講義担当者: 神戸山手大学 現代社会学部 専任講師 田中祥司 再生時間: 15分03秒 撮影年度: 平成25年
旅行者行動論 II	講義担当者: 神戸山手大学 現代社会学部 専任講師 田中祥司 再生時間: 15分01秒 撮影年度: 平成25年

観光ビジネスフロンティア編(8講座)

タイトル	内容
観光フロンティア概論	講義担当者: 株式会社JTB総合研究所 主席研究員・観光みらい人材研究室長/東京国際大学 客員教授 田中 再生時間: 32分16秒 撮影年度: 平成27年

キッザニアのビジネスモデル	講義担当者:KCJ GROUP 株式会社 経営企画本部マーケティング部部长 関口陽介 再生時間:12分30秒 撮影年度:平成27年
Business of Events: The Singapore Story	講義担当者:シンガポール政府観光局 国際グループ 日本支局 マネージャー 大石洋介 再生時間:21分33秒 撮影年度:平成27年
観光地域づくりの意味と進め方	講義担当者:横浜商科大学商学部長教授 羽田耕治 再生時間:22分57秒 撮影年度:平成27年
観光地のマネジメントや マーケティングを担うDMO Destination Management/Marketing Organization	講義担当者:事業構想大学院大学 客員教授/DMO(観光地域づくりプラットフォーム)推進機構代表 大社充 再生時間:14分16秒 撮影年度:平成27年
ニューツーリズムのビジネス事例～川崎の産業観光と工場夜景～	講義担当者:横浜商科大学商学部 観光マネジメント学科 宍戸学 再生時間:19分02秒 撮影年度:平成27年
ホテルビジネスの転換点	講義担当者:株式会社宿屋塾代表 近藤寛和 再生時間:37分05秒 撮影年度:平成27年
SNS・観光情報活用事例	講義担当者:横浜商科大学教授 細江哲志 再生時間:25分55秒 撮影年度:平成27年

インバウンド編(16講座)

タイトル	内容
インバウンド概論(前編)	講義担当者:株式会社やまごころ 代表取締役/インバウンド戦略アドバイザー 村山慶輔 再生時間:19分47秒 撮影年度:平成27年
インバウンド概論(後編)	講義担当者:株式会社やまごころ 代表取締役/インバウンド戦略アドバイザー 村山慶輔 再生時間:20分25秒 撮影年度:平成27年
インバウンド宿泊事業例 - カオサンの場合 -	講義担当者:カオサン東京ゲストハウス 人事・広報担当 山戸恵利加 再生時間:19分55秒 撮影年度:平成27年
ショッピングツーリズムとは	講義担当者:一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会 専務理事 事務局長 新津研一 再生時間:15分49秒 撮影年度:平成27年
インバウンド向け ガイドブックと表記	講義担当者:株式会社昭文社 グローバル事業統括部インバウンド事業開発課編集委員 正木聡 再生時間:12分38秒 撮影年度:平成27年
インバウンドのICT活用とビックデータの活用	講義担当者:横浜商科大学教授 細江哲志 再生時間:23分22秒 撮影年度:平成27年
ASEANからのインバウンドを迎えるにあたって ～「ハラール」とは何か?～①	講義担当者:四国学院大学 准教授 杉山維彦 再生時間:9分49秒 撮影年度:平成26年

ASEANからのインバウンドを迎えるにあたって ～「ハラール」とは何か？～②	講義担当者:四国学院大学 准教授 杉山維彦 再生時間:14分7秒 撮影年度:平成26年
日本におけるインバウンドの変移① 20年前のインバウンド	講義担当者:長崎国際大学 人間社会学部国際観光学科 准教授 海老澤昭郎 再生時間:9分50秒 撮影年度:平成26年
日本におけるインバウンドの変移② インバウンドの必然性	講義担当者:長崎国際大学 人間社会学部国際観光学科 准教授 海老澤昭郎 再生時間:9分36秒 撮影年度:平成26年
インバウンドにおける外国語版観光マップ	講義担当者:株式会社昭文社 グローバル事業統括部インバウンド事業開発課編集委員 正木聡 再生時間:17分03秒 撮影年度:平成26年
インバウンド観光 外客免税制度改正	講義担当者:神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 教授 小野田金司 再生時間:17分03秒 撮影年度:平成26年
2020年に向けて2000万人計画(1)	講義担当者:神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 教授 小野田金司 再生時間:14分55秒 撮影年度:平成25年
2020年に向けて2000万人計画(2)	講義担当者:神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 教授 小野田金司 再生時間:17分20秒 撮影年度:平成25年
ドン・キホーテのインバウンド観光成功事例	講義担当者:神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 教授 小野田金司 再生時間:13分42秒 撮影年度:平成25年
スポーツツーリズムで地域活性化	講義担当者:神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 教授 西村典芳 再生時間:14分21秒 撮影年度:平成25年

MICE編(16講座)

タイトル	内容
MICEビジネス概論	講義担当者:川島アソシエイツ代表/VISIT JAPAN大使 川島久男 再生時間:17分18秒 撮影年度:平成27年
イベントマネジメント	講義担当者:横株式会社ホットスケープ 代表取締役 前野伸幸 再生時間:08分30秒 撮影年度:平成27年
横浜における国際会議場運営の事例	講義担当者:パシフィック横浜総務部総務課担当課長 佐藤利幸 再生時間:10分05秒 撮影年度:平成27年
MICEに求められる人材と資質	講義担当者:株式会社ホットスケープ 代表取締役 前野伸幸 再生時間:07分39秒 撮影年度:平成27年
札幌MICEの現状と取り組み	講義担当者:公益財団法人札幌国際プラザコンベンションビューロー担当部長 荻麻里子 再生時間:21分17秒 撮影年度:平成27年

MICEに取り組む都市・横浜市の事例	講義担当者:横浜商科大学商学部 観光マネジメント学科 特任講師 秋山友志 再生時間:20分40秒 撮影年度:平成27年
MICEステークホルダーとdestinationマーケティング	講義担当者:川島アソシエイツ代表/VISIT JAPAN大使 川島久男 再生時間:16分54秒 撮影年度:平成27年
国際会議誘致の実際	講義担当者:日本政府観光局(JNTO)コンベンション誘致部次長 川崎悦子 再生時間:20分49秒 撮影年度:平成27年
MICEにおける政府の取組	講義担当者:国土交通省 土地・建設産業局国際課長補佐 乾有貴 再生時間:41分39秒 撮影年度:平成26年
MICEのM・I	講義担当者:横浜商科大学商学部 観光マネジメント学科 特任講師 秋山友志 再生時間:12分37秒 撮影年度:平成26年
MICEのC・E	講義担当者:横浜商科大学商学部 観光マネジメント学科 特任講師 秋山友志 再生時間:12分50秒 撮影年度:平成26年
旅行業におけるMICEについて	講義担当者:株式会社日本旅行 広報室 室長 矢嶋敏朗 再生時間:15分34秒 撮影年度:平成26年
ホテル業界が考えるべきMICEのポイント	講義担当者:神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 教授 清水隆吉 再生時間:19分43秒 撮影年度:平成26年
MICEに取り組む先進的ホテルの事例 ～(株)プリンスホテルのMICE戦略 その1～	講義担当者:横浜商科大学商学部 観光マネジメント学科 宍戸学 再生時間:13分36秒 撮影年度:平成26年
MICEに取り組む先進的ホテルの事例 ～(株)プリンスホテルのMICE戦略 その2～	講義担当者:横浜商科大学商学部 観光マネジメント学科 宍戸学 再生時間:11分08秒 撮影年度:平成26年
神戸MICE	講義担当者:神戸国際観光コンベンション協会 渡邊光 再生時間:16分49秒 撮影年度:平成26年